

2019. 9. 29

畑 啓之

家屋が古くなると、都市部においては取り壊して駐車場にする例が増えている

姫路駅近くには多くのパーキングが出現し、国道2号線沿いを歩いても古い家屋がパーキングに生まれ変わっているところが随所にみられる。

本日の散歩中に見かけた真新しいパーキングである（写真中）。めったに見られない光景であるので写真に収めた。写真下が元の姿であり、写真上の赤丸印がこのパーキングの位置である。JR 姫路駅からの直線距離は1.1kmである。

天下の国道二号線、それも姫路駅の近くでも、今にも倒れそうな廃屋、ツタを巻いた古家、そして明らかに空き家とわかる家など、姫路の町もこれから目に見えない速度であるかもしれないが変化して行かざるを得ない。10年後には大きく様変わりしているものと思う。

加古川駅近くの国道二号線ではこの現象がもっと顕著である。こちらは行政が手伝って、新しい街づくりプランを創り上げ、魅力ある街並みに作り替えていく必要がある。

